







必要ということです。 は関わりを持ち続けるための努力が 対して求められるのに対し、 つまり、生物多様性を保全するため こと」が保全のためには不可欠です。 山では「適切な人間活動を継続する 低減すること」であるのに対し、 生態系の保全が「人間活動の影響を に関わりを絶つことが原生的自然に では、その努力をどこに向ける 里山で

様性の第二の危機として認識されて

います。第一の危機にある原生的な

の停止による里山の放置は、

生物多様性国家戦略では、

絶滅危惧植物の種数を調べることで に対して、兼子ほか(2009)は 必要があるのでしょうか。この問い

> 800 単位面積あたりの種数(種/km² 700 1.0 600 0.8 500 種数(種) 0.6 400 300 0.4 200 0.2 100 0 0.0 草地 森林 農地 湿地

中国 5 件における絶滅危惧植物の種数 (■) と単位面積当たりの

種数 () (兼子ほか, 2009 を元に作図)

写真: 里山の絶滅危惧植物 右上/ベニバナヤマシャクヤク(絶滅危惧 || 類)

左上/オキナグサ(絶滅危惧 || 類) 左下/ヒゴタイ(絶滅危惧 || 類)



回答しています。

地(300平方キロ)、草地(228 が低いことがわかりました。 0・00種、森林では0・03種と密度 1・02種と密度が高く、農地では 種数が草地では1・20種、湿地では 数を求めると、1平方キロあたりの 単位面積あたりの絶滅危惧植物の種 1・0%、0・8%に過ぎません。 ぼりますが、湿地、草地はそれぞれ 合は、森林は78%、農地は20%にの 育環境の中国地方5県の中の面積割 平方キロ)、の順でした。これら生 口)、農地(5599平方キロ)、湿 積は、森林(2万1959 平方キ きます。ところが、各生育環境の面 を調べると、森林が最も多く(762 れている絶滅危惧植物は、全部で のリストをまとめた本)に掲載さ ブック(絶滅のおそれのある生物 (306種)、草地(272種)と続 1254種です。生育環境毎に種数 中国地方5県のレッドデータ 次いで農地 (332種)、湿地

込まないと、現実的な保全対策をた てることは困難です。一方、面積が 危惧植物が分散して生育しているた 面積が広い森林や農地では絶滅 特に重要な場やその環境を絞り

> じていくことが求められます。 育している草地・湿地は、個々の生 小さく、絶滅危惧植物が集中して生 育地に対して今すぐに保全対策を講

で、しばらくは保全を目的とした施 山との新たな関係が出来上がるま の過渡期にあると言えます。人と甲 里山の生物多様性を未来に繋ぐため システムに組み込み、残されている す。現在は、そうした仕組みを社会 用の仕組みが創り出されつつありま 流通やツーリズムなど、今日的な利 れているように、木質バイオマスの ありますが、一方で、本書で紹介さ 動は、社会の変容により失われつつ て暮らしの中に組み込まれていた活 動を継続することが必要です。かつ 策が必要です。 里山の保全には、適切な人間活 (白川勝信



■ 里山を守る活動に参加したい・サポートしたい方へ

里山の環境を守る活動を行う団体や、関連の情報を発信しているウェブサイトを紹介します。活動拠点や内容、一般の方が参加できるイベントなどが紹介されています。直接活動に参加できなくても、商品を購入したり、寄付を行ったりすることで、活動をサポートすることができます。サイトで知ったことを他の人に伝えたりすることも、里山の保全に貢献することになります。

【総合的な情報を得たい】

■ 環境省自然環境局自然環境計画課

<生物多様性国家戦略>

http://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/initiatives/ <里地里山の保全・活用、里山イニシアティブ> http://www.env.go.jp/nature/satoyama/top.html

<生物多様性センター>

http://www.biodic.go.jp/

<生物多様性とは>

http://www.biodic.go.jp/biodiversity/

<生物多様性評価地図>

http://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/map/list.html

<RDB図鑑>

http://www.sizenken.biodic.go.jp/rdb/index.html <モニタリングサイト1000>

http://www.biodic.go.jp/moni1000.html

■ 文化庁

<文化的景観>

http://www.bunka.go.ip/bunkazai/shoukai/keikan.html

■ にほんの里100選

http://www.sato100.com/

■ モニタリングサイト1000里地調査 http://www.nacsj.or.jp/project/moni1000/

■ 日本全国野焼きマップ(岐阜大学流域圏科学研究センター・津田研究室)

【『エコロジー講座7 里山のこれまでとこれから』 で紹介した地域の活動について知りたい】

■宝ヶ池プレイパーク(京都府)

http://www.kyoto-ga.jp/kodomonorakuen/playpark/index.html

■里山ネットワーク世屋(京都府) http://www.satoyama-net-seya.org

■ プロジェクト保津川(京都府) http://hozugawa.org/program/ikada.html

■比良の里人 (滋賀県)

http://www9.plala.or.jp/satobito/

■財団法人大阪みどりのトラスト協会 ゼフィルスの森ト ラスト基金(大阪府)

http://www.ogtrust.jp/donate/zephyrus.html

■雲月山の草原の火入れ(広島県) http://jale.sblo.jp/article/55536700.html http://jale.sblo.jp/article/55738589.html

■芸北せどやま再生プロジェクト(広島県) http://npo.shizenkan.info/?page_id=16 https://www.facebook.com/geihoku.sedoyama

- ■ひろしま緑づくりインフォメーションセンター(広島県) http://www.h-gic.jp/
- ■阿蘇草原再生協議会(熊本県) http://www.aso-sougen.com/kyougikai/
- ■公益財団法人阿蘇グリーンストック(熊本県) http://www.asogreenstock.com/



■ 執筆者紹介



Lらがわ かつのぶ **白川 勝信** 芸北 高原の自然館 主任学芸員

■引用・参考文献

兼子 伸吾, 太田 陽子, 白川 勝信, 井上 雅仁, 堤 道生, 渡邊 園子, 佐 久間 智子, 高橋佳孝 (2009) 中国5県のRDBを用いた絶滅危 惧植物における生育環境の重要性評価の試み. 保全生態学 研究14(1):119-123.

エコロジー講座 7 単山のこれまでとこれから 分冊版 8 コラム 絶滅危惧植物からみた里山

に ほんせいたいかっかい 日本生態学会 編 かま た ま ひと しらかわかつのぶ なかごしのぶかず 鎌田磨人・白川勝信・中越信和 責任編集 しらかわかつのぶ 白川勝信 著

2014年3月16日 発行

発行 日本生態学会

製作 株式会社文一総合出版

2014 © The Ecological Society of Japan

Printed in Japan 本書の一部または全部の無断転載を禁じます。

■ 日本生態学会とは?

日本生態学会は、1953 年に創設されました。生態学を専門とする研究者や学生、さらに生態学に関心のある一般市民から構成される、会員数 4000 人余りを誇る、環境科学の分野では日本有数の学術団体です。

生態学は、たいへん広い分野をカバーしているので、会員の興味もさまざまです。生物の大発生や絶滅はなぜ起こるのか、多種多様な生物はどのようにして進化してきたのか、生態系の中で物質はどのように循環しているのか、希少生物の保全や外来種の管理を効果的に行うにはどのような方法があるのか、といった多様な問題に取り組んでいます。また、対象とする生物や生態系もさまざまで、植物、動物、微生物、森林、農地、湖沼、海洋などあらゆる分野に及んでいます。会員の多くが、自然や生きものが好きだ、地球上の生物多様性や環境を保全したい、という思いを共有しています。

毎年1回開催される年次大会は学会の最大のイベントで、2000人ほどが参加し、数多くのシンポジウムや集会、一般講演を聴くことができます。また、高校生を対象としたポスター発表会も行っており、次代を担う生態学者の育成に努めています。学術雑誌の出版も学会の重要な活動で、専門性の高い英文誌「Ecological Research」をはじめ、解説記事が豊富な和文誌「日本生態学会誌」、保全を専門に扱った和文誌「保全生態学研究」の3つが柱です。英文はちょっと苦手という方も、和文誌が2種類用意されているので、新しい知見を吸収できると思います。さらに、行政事業に対する要望書の提出や、一般向けの各種講演会、『生態学入門』などの書籍の発行など、社会に対してもさまざまな情報を発信しています。

日本生態学会には、いつでも誰でも入会できます。入会を希望される場合は、以下のサイトをご覧下さい。「入会案内」のページに、会費、申込み方法などが掲載されています。

